

AMED支援「研究者皆学修プロジェクト」
2019年度作成教材の内容

領 域 名	単 元 名	内 容
責任ある研究行為	医学研究者の責務	研究者には自己の研究を通じた社会への貢献に加え、学術研究全体、さらには社会全体の質の向上に貢献する責務がある。この單元では、日本国内で出されている声明や指針等を挙げながら、研究者自らの研究分野における責務に加え、専門職としての社会に対する責務について学ぶ。
	研究における不正行為	「研究における不正行為」をしないために、研究者・大学院生ばかりでなく医療機関で診療にあたる医師等のように現業を主な職務としながら研究する者も、どのような行為が不正行為に相当するのかを熟知しておく必要がある。この單元では、「研究における不正行為」や、「捏造・改ざん・盗用」以外の科学研究の発達を妨げる行為について学ぶ。
	盗用と見なされる行為	論文を作成する過程で、研究者が陥りがちな行為として、他者の論文のテキストやデータをそのまま自分の原稿にコピーしたり、わずかな修正を加えて貼り付けたりすることがある。この單元では、学術論文を書く上で注意すべき問題や行為、適切な引用と不適切な引用について学ぶ。
	オーサーシップ — 著者となる資格と、伴う責任 —	著者の資格(オーサーシップ)をめぐる様々な問題に判断を下す際、研究界の共通ルールがあるが、分野間の微妙な違いもある。この單元では、その差異を明らかにしながら、オーサーシップを得るための必要条件、オーサーシップをめぐる揉め事、オーサーシップを持つ資格と責任に関する国際基準等について学ぶ。
	ピア・レビュー	研究におけるクオリティ・コントロールの基本的手法であるピア・レビューの目的とその役割、種類などの基本事項から、査読プロセスで発生し得る倫理的諸問題、それに対する査読者の対処法を扱うガイドライン等について学ぶ。
	利益相反状態とは	異なる種類の利益相反(利益相反、責務相反、利益相反取引)の特徴・違いを比較しながら、研究機関における利益相反の管理方法や研究者・技術者がとるべき行動、利益相反から生じる不正行為への対処法について学ぶ。
	メンタリング	若手研究者が順調に成長するためには、適切な指導やサポート(メンタリング)を受けることが必要不可欠であるが、その際、受ける側(メンティー)の能動的な対応も重要である。この單元では、若手研究者に関わるメンタリングの課題について学ぶ。